

特別 委員会報告

ILC調査特別委員会

2月2～3日に、調査活動の一環として特別委員会幹事及び新人議員13人で、茨城県つくば市の「高エネルギー加速器研究機構」、千葉県柏市の「柏の葉アーバンデザインセンター」及び「柏の葉スマートシティミュージアム」の視察を行いました。

高エネルギー加速器研究機構は、ILCの建設実現に向け、高品質なビームの生成と制御、高性能の超伝導空洞と加速システムの開発、性能を高めつつより製造コストを抑えた超伝導加速

地域医療調査特別委員会

2月4日の委員会では、県南広域振興局保健福祉部長等の出席のもと「岩手県保健医療計画の概要と進捗状況」及び「県立病院と市内医療機関との連携の現状と今後の見通し」について調査しました。

岩手県保健医療計画の内容及び市立病院等と県立病院の連携についてを中

空洞の製造方法のほか、最先端の測定器の研究開発を行っており、研究者間では北上山地を想定したILC建設に向け、着々と準備が進められておりました。

柏の葉アーバンデザインセンターでは、「公・民・学」連携によるまちづくりを視察、また、柏の葉スマートシティミュージアムでは、環境共生都市、健康長寿都市、新産業都市の融合を目指すスマートシティの理念や概念、これから実現される近未来のまちの仕組みやライフスタイルなど、まちづくりの具体的なイメージを膨らませること

心に質疑が行われ、岩手県奨学金養成医師の配置予定や水沢病院の救急患者受け入れ状況、さらには厚生労働省から出された改革案に対する奥州市の対応についての質疑も活発に行われました。

3月23日の委員会では、「医師、看護師確保対策の進捗状況と27年度の見通し」について調査しました。
現在市で行われている医師、看護師対

が出来ました。視察を通じて、広範囲な国際科学都市の誕生のための活動を推進していく必要性を強く感じました。
3月23日の委員会では、「ILC誘致に係る奥州市のまちづくり計画の進捗状況」「ILC誘致に係る岩手県の動向及びILC誘致に係る27年度の市の取組み内容」について調査しました。



高エネルギー加速器研究機構（つくば市）

策について質疑が行われ、胆江圏域における医療連携の在り方や薬剤師の確保対策についての質疑が行われました。



医療の見通しを説明する小沢市長

奥州市議会市政調査会

「1/26地域医療に関する講演会」開催

市議会市政調査会（会長・中澤俊明議員）は1月26日に、日本海総合病院長の栗谷義樹氏を講師に迎え「地域医療に関する講演会」を開催し、議員と市医療担当職員が参加して将来の地域医療体制や医師不足対応策などに理解を深めました。日本海総合病院は、山形県酒田市あきほ町にあり、旧県立日本海病院と旧市立酒田病院を統合・再編し地方独立行政法人「山形県・酒田市病院機構」が運営、内科や脳神経外科、産婦人科など26科を備え、災害拠点病院やがん診療連携拠点病院などに指定されており、庄内地方の中核病院として高度医療を担っております。医師不足への対応については、「実習生にとっては忙しさではなく、症例数などから技術的なキャリアパスができるかどうかを見る」と指摘され、若い医師が経験を積めるようにするなど業務内容を充実させるべきと講演しました。



日本海総合病院長 栗谷義樹氏

次のページは「国内19議会が行政視察・市議会のあれ？いれ？」「？」